

# 開かれた市政の推進

## 昨年度の情報公開等請求 197件

■八幡市情報公開・個人情報保護制度の実施状況  
(平成25年4月～平成26年3月)

請求者の内訳	開示	部分開示	非開示	取り下げ	却下	計
八幡市民	61	35	0	7	0	103
他市の住民	26	2	0	0	0	28
民間事業者(市内・市外)	17	43	0	1	1	62
その他団体	1	1	0	0	0	2
計	105	81	0	8	1	195

請求者の内訳	開示	部分開示	非開示	取り下げ	却下	計
八幡市民	2	0	0	0	0	2
他市の住民	0	0	0	0	0	0
計	2	0	0	0	0	2

市は、市民の皆さんに「知る権利」を保障するとともに「説明責任」を果たし、透明性の高い開かれた市政の推進を目的とした「八幡市情報公開条例」と個人情報情報の取り扱いを定めた「八幡市個人情報保護条例」を制定し、公正で公平な市政の実現に向けて努めています。

これらの条例に基づく平成25年度の情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況をお知らせします。

### ▼情報公開制度等の運用状況

情報公開条例に基づく請求は、195件(8件の取り下げを含む)で、この内105件を開示、81件を部分開示、1件を却下しました。

市が保有している個人情報ファイルは、954件です。それぞれの個人情報ファイルの作成目的、個人情報の収集方法、収集場所、収集項目などを「個人情報取扱事務一覧表」に取りまとてあります。一覧表は閲覧コーナー(市役所2階)で閲覧することができます。

市議会での議案録や議案書、予算・決算書、各種計画・統計書、文書目録などの資料は閲覧コーナーに展示しています。またコーナーには、複写機(1枚10円)を設置していますので、ご利用ください。

### ▼市保有の個人情報

市議会での議案録や議案書、予算・決算書、各種計画・統計書、文書目録などの資料は閲覧コーナーに展示しています。またコーナーには、複写機(1枚10円)を設置していますので、ご利用ください。

### ▼開示請求の方法

情報公開などの請求は、「公文書開示請求書」または「自己情報開示等請求書」を提出していただく必要があります。なお、自己情報開示等の請求は、本人確認ができるもの(運転免許証等)が必要です。

\*\*\*

個人情報の取扱事業者は、情報の取扱ルールを守りましょう。

◆問い合わせ  
市民協働推進課

## 市職員が出前講座

### 市の歴史や介護保険関係が人気

市職員が講師となり、市民団体やグループ等の会議や会合などに出向き、行政の仕組みや事業、施策などを説明する「出前講座」を行っています。

平成25年度は37件の開催があり、1089人が受講

されました。依頼が多かった講座は、前年度と同様、市の歴史関係(13件、397人)や介護保険関係(8件、220人)でした。

◆◆◆  
今年度の出前講座は表のとおり。講座の所要時間は意見交換を含めて1時間程度です。

▽利用できる団体  
市内に居住または勤務する人で構成する団体。  
※会場の手配や開催のお知らせ、当日の進行は、申し込みされた団体でお願いいたします。

◇申し込み(依頼)

出前講座を希望される団体は、開催日1カ月前までに、市ホームページからダウンロードまたは市民協働推進課等にある申込書に必要事項を記入し、申し込んでください。(無料)

◆問い合わせ 市民協働推進課

## 市の出前講座

第4次八幡市総合計画について	広報やわたについて	個人情報保護制度と情報公開制度について	消費生活について	八幡市の財政状況について	防災について	避難所運営について	戸籍について	人権問題について	女性問題について	環境問題について	動物の愛護および管理について	プラスチック製容器包装回収の取り組みについて	歴史散策による観光のまちづくり	障がい福祉について	児童虐待について	介護保険制度について	認知症サポーター養成講座	健康づくりについて	国民健康保険について	高齢者医療について	都市計画について	地域整備とまちづくり	橋の維持管理について	下水道の維持管理について	火災予防の対応策等について	救急救命について	上水道について	生涯スポーツについて	江戸時代の上津屋村	早わかり八幡の歴史(通史)	八幡の地名考	幕末・明治の八幡	八幡の地質と地震史	弥生時代の八幡	あっ、図書館。～生活のヒントあります～パート1	地方議会について
----------------	-----------	---------------------	----------	--------------	--------	-----------	--------	----------	----------	----------	----------------	------------------------	-----------------	-----------	----------	------------	--------------	-----------	------------	-----------	----------	------------	------------	--------------	---------------	----------	---------	------------	-----------	---------------	--------	----------	-----------	---------	-------------------------	----------

## 生活情報センター

### 相談件数が増加!

目立つ、高齢者被害

商品やサービスなどに関するさまざまな消費者の被害相談を受けている生活情報センターでは、このほど平成25年度の相談概要をまとめました。

★相談件数が増加  
平成25年度に受け付けた相談件数は524件となり、前年度463件より13.2%の増加となりました。これは、健康食品関係の送り付け商法の相談や修理・補修に関する相談が増加したのが主な要因と思われる。

★3割強が高齢者相談  
年代別では、70歳代以上の高齢者の相談が33.7%と目立ちました。次いで

と一番多く、全体の3割強を占めています。性別では6対4の割合で女性が男性より多くなっています。

★トップはアダルト情報サイト、健康食品関係の相談が増加  
携帯電話やスマートフォン・パソコンによるアダルト情報サイトなどの放送・コンテンツの相談は相変わらず多く、前年度に引き続きトップとなりました。身に覚えのない有料サイトの料金を請求する架空請求のメールやワンクリックでの高額請求、また請求画面が貼り付き消えないという相談が目立ちました。次いで

健康食品関係の送り付け商法の相談で、前年度の相談件数の2倍近くに達しました。例えば、「以前注文されたサプリメントができたので送付する」と電話がかかり、強引に勧誘します。注文した覚えがないと断ると「確かに注文されている。証拠がある」としつこく、やがては、裁判をすると脅すケースが横行しています。

★「買え買え詐欺」劇場型勧誘の増加  
複数の登場人物が現れ、まるで演劇のようにそれぞれの役を演じて消費者をだまして契約させる劇場型勧誘の相談が増加。未公開株や社債、金融商品かどうかははっきりしない「怪しい権利取引」の詐欺的なものも話のトラブルも高齢者に増加しました。

### ■相談件数トップ10項目

順位	相談内容	25年度	24年度	前年度比
1	放送・コンテンツ(アダルト情報サイトなど)	59件	80件	73.8%
2	健康食品	31件	17件	182.4%
2	交通事故・労働トラブル・相続など	31件	25件	124.0%
4	預貯金・証券等(社債・未公開株など)	26件	14件	185.7%
5	訪問買取、架空請求など	23件	24件	95.8%
6	融資サービス(フリーローン・サラ金など)	20件	24件	83.3%
7	修理・補修(水道工事など)	19件	7件	271.4%
8	レンタル・リース・貸借(賃貸住宅など)	18件	16件	112.5%
9	インターネット通信サービス(プロバイダ契約など)	11件	10件	110.0%
9	行政サービス(保険証の紛失、所得証明など)	11件	8件	137.5%

※強引な勧誘や不審な契約が今後も増加する傾向にあります。不要なもののはっきりと断りましょう。おかしいと思ったら早めに相談ください。

◆問い合わせ 生活情報センター ☎983・8400